



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

大規模な林野火災を想定した 消防訓練を行う考えは



(動画時間)
37分

町長：上川北部消防事務組合へ、大規模な
林野火災を想定した訓練を提案したい

質問 岩手県大船渡市の山林火災は、3月6日の時点で2千9百ヘクタールを焼失し、平成以来日本最大の山林火災だったそうです。山火事は風の強さや、空気の乾燥で広がるので、怖いものです。

本町も3月から5月は、風も強くなり注意が必要な時期です。山林火災では水利が重要ですが、そのための防火池があるそうですが、貯水量の確認等メンテナンスはどのように行っていますか。

町長 毎年雪解け後に、町職員により貯水状況を確認し、不具合があれば対応を行っており、また、草刈り等についても、毎年実施しています。

再質問 今、大規模な林野火災を想定した消防訓練を行うべきと考えます。町長が、上川北部消防事務組合の副管理者として提案してはいかがでしょうか。

町長 下川消防団の春季の演習で、林野火災を想定した訓練を実施しています。また、担当職員、消防職員による林野火災の空中消火資機材の操作訓練への参加のほか消防署と机上訓練を行っています。今後、大規模な林野火災を想定した訓練についても提案していきます。

しもかわ財団の運営強化の 目指すところは



(動画時間)
58分

副町長：町民同士が知り合う機会の創出と人材雇用の仕組みづくりの構築を図る



おばら よしお
小原 仁興 議員

質問 しもかわ財団発足から現在までの取り組みによって組織が強化された部分、発足前と大きく変化した部分について伺います。

町長 今年度は、しもかわ財団が発足して実質初年度のため既存の移住定住促進事業を継続しつつ、法人組織としての活動方針や体制づくり、活動内容の検討、関係機関との関係構築などに取り組み、「住みたい、住み続けたい町づくり」のため、既存の「移住促進機能」に加えて「定住促進機能の強化」をします。

再質問 今年度の町政執行方針でしもかわ財団の運営強化が盛り込まれていましたが、具体的な強化を目指す部分を伺います。

副町長 令和7年度の活動方針として移住については継続としながら定住に向けて考えているところです。新規事業としては町民同士が知り合う機会を創出します。もう一つは総合窓口機能の充実により問題解決能力の強化を図ります。定住ニーズの調査により、施策の立案、家計や地域経済の循環を把握しながら、地域にあった人材雇用の仕組みづくりを構築していきたいと思っています。

その他の質問事項

▶ 上下水道事業について